

第3回 暁木地盤の会

「暁木地盤の会」の第3回会合が、平成20年12月17日（水）に工学部多目的会議室（第一部：勉強会）ならびに工学部食堂AMEC³（第二部：交流会）に於いて開催されました。当会は、沖村孝名誉教授（(財)建設工学研究所常務理事）を会長に、地盤系研究室の卒業生を中心として、地盤工学の最新の研究・技術を共に勉強するとともに、現役学生を含めた同窓生の交流を深めることを目的として設立され、これまでに2回開催（平成19年8月31日，平成20年5月23日）してきました。

第一部の勉強会では、飯塚敦教授（自然科学系先端融合研究環都市安全研究センター副センター長）から「土構造物の性能設計」と題したご講演を、沖村先生からは、「中国四川大地震被害（1987年と2008年の調査より）」と題したご講演を賜りました。大先輩の遊川健三氏（⑭回生）から現役学生まで60名近くのご参加を頂き、椅子が足りずに立ち見の参加者もでるほどの盛況ぶり、土構造物の設計に関する国内外の最新のトピックスや四川大地震による被害状況の説明を参加者の皆様は熱心に聞き入っておられました。工学部食堂に場所を移して行われた第二部の交流会では、遊川先輩による乾杯の音頭の後、会場のあちこちで技術情報の交換や昔の思い出話に花が咲き、途中、現役学生からは研究テーマの紹介があるなど、交流会は大いに盛りあがりました。宴の終わりには、沖村先生から一本締めを頂戴し、9時前に散会となりました。

このページをお借りして、多忙なところ本会の趣旨にご賛同頂き、ご参加下さいました多くの卒業生の皆様方に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも引き続きご協力をお願い申し上げます。また、本会は、地盤系研究室の卒業生以外でも、現在地盤を対象とした仕事や研究をされている方や地盤の不思議にご興味をお持ちの暁木会会員の方々からの参加もお待ちしておりますので、よろしく願いいたします。

文責：澁谷啓，鳥居宣之（暁木地盤の会世話人）